

社会資本総合整備計画（防災・安全交付金）

平成31年 1月 7日

計画の名称	災害や事故に備える安全安心な都市公園づくり（防災・安全）										重点配分対象の該当						
計画の期間	平成30年度（1年間）			交付対象	兵庫県												
計画の目標	<p>・ 老朽化により対策が必要な公園施設の改築更新を推進することにより、災害や事故に備える安全安心な都市公園を維持する。</p>																
計画の成果目標（定量的指標）	<p>・ 広域防災拠点としての機能発揮に関わる施設（受電設備、情報通信盤）のうち、有馬富士公園ほか3公園の老朽化施設の改築更新を実施する。</p>																
定量的指標の定義及び算定式											定量的指標の現況値及び目標値	備考					
											当初現況値 (H30当初)		中間目標値 (H30末)	最終目標値 (H30末)			
	広域防災拠点としての機能発揮に関わる施設（受電設備、情報通信盤）のうち、不具合が生じている11施設の更新割合で算定する。										0 %		100 %	100 %			
全体事業費	合計 (A+B+C+D)		250 百万円	A	250 百万円	B	0 百万円	C	0 百万円	D	0 百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0.00%				
交付対象事業																	
A 基幹事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）				全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考	
A-1	公園	一般	兵庫県	直接	兵庫県	公園施設長寿命化対策支援事業（有馬富士公園ほか3公園）（緊急点検）	受電設備等の更新	三田市ほか	H30					250		策定済	
									合計				250		-		
B 関連社会資本整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）				全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考	
									合計				0				
C 効果促進事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）				全体事業費 (百万円)	備考			
									合計				0				
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考					
D 社会資本整備円滑化地籍整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）				全体事業費 (百万円)	備考			
									合計								
番号												備考					

交付金の執行状況

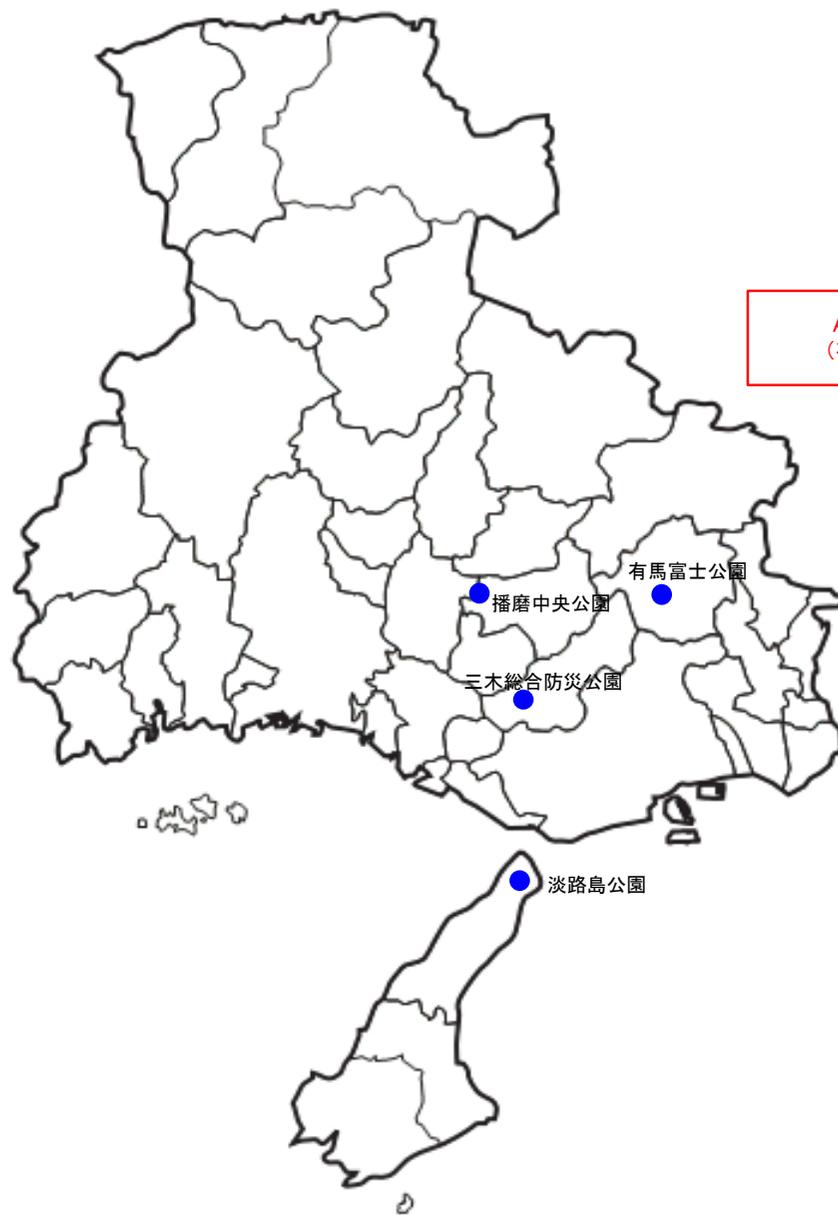
(単位：百万円)

	H30	R1	R2
配分額 (a)	250	0	0
計画別流用 増△減額 (b)	0	0	0
交付額 (c=a+b)	250	0	0
前年度からの繰越額 (d)	0	250	95
支払済額 (e)	0	156	95
翌年度繰越額 (f)	250	95	0
うち未契約繰越額 (g)	250	68	0
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0
未契約繰越＋不用率 (h = (g+h)/(c+d))	100.0%	27.4%	0.0%
未契約繰越＋不用率が10%を超えている 場合その理由	平成31年2月 内示であった ため。	入札不調のた め。	

※ 平成30年度以降の各年度の決算額を記載。

参考図面（社会資本整備総合交付金）

計画の名称	災害や事故に備える安全安心な都市公園づくり（防災・安全）		
計画の期間	平成30年度（1年間）	交付対象	兵庫県



A-1 公園施設長寿命化対策支援事業
(有馬富士公園ほか3公園) (緊急点検)

社会資本整備総合交付金チェックシート

計画の名称:災害や事故に備える安全安心な都市公園づくり 事業主体名:兵庫県

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①関係法令等との適合等	
1) 目標が関係法令等の目的と適合している。	○
2) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
②地域の課題への対応	
1) 地域の課題を踏まえて目標が設定されている。	○
II. 整備計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等	
1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
3) 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
4) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
④事業の効果	
1) 十分な事業効果が確認されている。	○
2) 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 整備計画の実現可能性	
⑤地元の機運	
1) 住民・民間事業者等と連携して計画を策定している。	○
⑥円滑な事業執行の環境	
1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
2) 計画について住民等との間で合意が形成されている。	○